



支部だより No.143

日本山岳会京都・滋賀支部

2021年6月15日

山に登ろう

松下征文

新年度が始まっていますが、会員の皆様にはお変わりなくお過ごしのことと思います。

コロナはより強くなりコロナ感染がますます拡大し、私にもワクチンの接種案内が届きました。今の状況では7月以降となりそうです。4月25日に3度目の非常事態宣言が発出されましたが先の見通しは立ちません。ワクチン効果で一刻も早く収束するのを待つ日々です。コロナ感染予防についてはこの一年間で学んだと思います。支部山行は感染対策を徹底して計画を実施してまいります。

4月3日に京都・滋賀支部総会が終わり新年度の活動が始まりました。4月10日にはZoomによる日本山岳会支部連絡会議も行われました。各支部とも今後の活動計画はコロナ感染状況次第です。

永年支部役員を務めていただいた岡田茂久様、山田和男様、方山宗子様ありがとうございました。これからも支部運営にご助言いただきますようお願いいたします。山田和男様には引き続き支部だよりの編集等をお願いしています。新役員として駒井治雄様、竹下節子様、八木透様に就任していただきました。よろしくをお願いいたします。

京都・滋賀支部のホームページがリニューアルされました。訪問していただきより楽しいホームページとなるよう投稿等をお願いします。

今年度からの山行活動として120周年事業の古道調査を行います。まだ(4/29現在)本部より当支部の調査ルートの手配は来ていませんが面白い山行が出来ると思われそうです。

昨年度の健幸登山教室は本部からの特別補助金を活用しています。しかし、コロナで延期や中止となり完了していませんが、本年度引き続き開催していきます。参加者の中から友の会や会員への入会者が増えるでしょう。温かく迎えます。

京都新聞への連載は「近江の山々」として連載が始

まりました。取材山行等も計画されます。山書会も支部の蔵書目録が出来ました。皆さんから提供いただいた蔵書です。友の会の方も山書会へ参加してください。支部には多様な部会があります。活動をより活性化して山の世界を広げ仲間を増やしましょう。

会員増は本部、各支部共に喫緊の課題です。特に若い方の入会を促進せねば京都・滋賀支部の明日はありません。支部の活性化は入会増のビタミンでしょう。今年度の課題として入会促進策としての活性化を議論していきたいと思います。会員の皆様からのご意見を求めます。

コロナよさらばとなることを願って山に登ろう。

日本山岳会京都・滋賀支部2021年度第36回総会報告

伊原哲士

皆様には日本山岳会京都・滋賀支部の諸活動について日頃よりご協力を頂き感謝申し上げます。

日本山岳会京都・滋賀支部2021年度(令和3年度)第36回総会を4月3日(土)に京都・鴨沂会館にて開催しました。新型コロナウイルスの第4波の蔓延が予想される中、高齢会員も多く、総会後の懇親会も中止するなど困難な中での開催となりました。

今回の支部総会につきましては、新型コロナウイルス禍の情勢を鑑み、総会のみで開催となりました。以下は、報告です。

【要旨】

- ・2021年4月3日(土)に鴨沂会館にて日本山岳会京都・滋賀支部第36回総会を開催。総会議長は、総会司会者の森栄司委員の発議で駒井治雄会員を選任しました。
- ・新型コロナウイルス蔓延の影響で、コロナ予防措置と体調管理に重点を置き短時間での開催となりました。
- ・支部役員会にて、新型コロナウイルス蔓延禍の臨時的な措置として今回総会は葉書による「総会議決の

委任」にも重点をおきました。

- ・4月3日の総会は、総会委任状56人。総会出席者19名。支部会員総数138名中、75名の参加でした。
- ・議決内容は「2020年度事業報告」「2020年度決算報告」「2021年度支部役員推薦（案）」「2021年度事業計画（案）」「2021年度予算（案）」の5点。全て成立しました。
- ・「登山文化の継承」「若手登山家の育成と次世代への支部の継承」「安全登山」「自然保護等の日本山岳会としての諸活動の取り組み」など課題は山積していることを確認しました。

「2020年度事業報告」

2020年度支部総会は2020年4月4日（土）に鴨沂会館にて開催予定でしたが、新型コロナウイルスの蔓延禍で中止。4月30日を期限として、「書面議決」総会を開催。総会委任状36人。支部役員及び総会出席予定者の「書面議決」38名。支部会員137名で74名の参加でした。

記念講演は、2019年度秩父宮山岳賞受賞者の安間繁樹氏の「人生を決めた西表島とボルネオ島の自然と人々」を予定していましたが新型コロナウイルスの蔓延禍で延期となりました。

2020年度の京都「今西錦司賞」は『旅人たちのパミール』などの著作のある酒井敏明氏（京都滋賀支部顧問・元京都支部長・帝塚山大学名誉教授・京都大学学士山岳会）が受賞しました。

通常の例会である「未知の山旅」「平日例会山行」「山歩会」「巨木探訪」「テント泊登山」「山のスケッチ」等が新型コロナウイルスの蔓延禍で中止を余儀なくされる困難の中、回数を減らし取り組まれました。

「講習会」は人工壁・沢登り・岩登りが取り組まれました。

日本山岳会の会員増強事業の一つとしての「特別補助金」を支部の「健幸登山教室」が受給しました。新型コロナウイルスの蔓延禍で、実技登山教室8回を予定していましたが、半分の4回の実施となりました。

山の日記念事業、5支部・広島支部など他支部との交流は新型コロナウイルスの蔓延で中止となりました。

支部事業として、2年にわたる「丹波の山々」の続きとして約1年にわたる京都新聞連載の『京都の山々』が取り組まれ終了しました。次回は「近江の山々」が引き続き取り組まれます。

「2020年度決算報告」

2020年度は新型コロナウイルス禍での活動中止により支部財政出動も少なくなり多額の繰り越しが出ましたが、支部会員減、不況下での広告収入減などで厳しい会計が続きます。

支部ホームページのSSL化（暗号化）などの安全対

策を構築する為に、今期のみですが約38万円のホームページ刷新費用が発生しました。

【2021年度支部役員】

八木透会員を監事に、駒井治雄会員、竹下節子会員を委員に選任します。

方山宗子監事、岡田茂久委員、山田和男委員は今期で退任します。引き続き、「支部だより」編集、「古道調査」などの会員としての任務は続けて頂けます。

他の役員の変更はありません。今後も支部の役員の若返りにも積極的に取り組みます。

「2021年度事業計画」

新型コロナウイルスの蔓延禍の状況により引き続き困難な運営が予想されます。

支部例会は「未知の山旅」「平日例会山行」「山歩会」「巨木探訪」「テント泊登山」「山のスケッチ」等の実施は新型コロナウイルスの蔓延に現実対応しながら、「安全登山」「命と健康を大切に」立場での運営が予想されます。他支部との交流も同様です。

京都新聞連載は『近江の山々』が4月より新連載として取り組まれます。

「2021年度予算」

2021年度予算も新型コロナウイルスの蔓延禍で、予想できない会計が続きます。引き続き、支部会計の「安定化」に取り組みます。

【総会記念講演会の延期】

毎年恒例の支部総会記念講演会は、2019年度秩父宮山岳賞受賞者の安間繁樹氏でした。「人生を決めた西表島とボルネオ島の自然と人々」というテーマでしたが、新型コロナウイルスの蔓延禍で再度の延期となりました。

【2021年度京都「今西錦司賞」】

2021年度の京都「今西錦司賞」は該当者なしでした。

新型コロナウイルスの蔓延で活動も低迷していることもあり、選考委員会（齋藤惇生委員長、塚本瑠一委員、杉山イタル委員）を代表して齋藤惇生委員長より「次年度に期待したい」旨の説明が総会でありました。



支部総会・鴨沂会館

《日本山岳会京都・滋賀支部 2021 年度事業計画》

1. 例会山行、講習会、総会、講演会等

(京都・滋賀支部)

(4月)

2021年4月3日(土) 日本山岳会京都滋賀支部総会
鴨沂会館

2021年4月4日(日) 第1回 健幸登山教室
北小松人工壁講習会 担当: 松下支部長

2021年4月15日(木) 平日例会山行
八草峠旧峠～△780.4m(Ⅲ 戸谷)
担当: 田中顧問

2021年4月17日(土) 歴史と文化の山旅
馬見丘陵 担当: 伊原事務局長・森委員

2021年4月25日(日)
比良シャクナゲ山行 担当: 松下支部長・真名子委員

2021年4月29日(木)
巨木探訪 担当: 山村委員

(5月)

2021年5月8日(土)～9日(日) テント泊山行
火燈山～富士写ヶ岳 担当: 田中顧問

2021年5月15日(土) 歴史と文化の山旅
明日香村 担当: 伊原事務局長・森委員

2021年5月16日(日) 第2回 健幸登山教室
ロックガーデン 担当: 松下支部長・宮永委員

2021年5月20日(木) 平日例会山行
金糞岳～白倉の頭～五郎の頭 担当: 田中顧問

2021年5月22日(土)
今西錦司レリーフの集い 担当: 中川監事

2021年5月23日(日)
春のスケッチ 担当: 山田会員

2021年5月25日(火) 山歩会
箕作山・太郎坊山(湖東) 担当: 中川監事

2021年5月26日(水)
巨木探訪 担当: 山村委員

(6月)

2021年6月か7月(日程調整)
シャモニー・モンブラントレッキング、クライミング
担当: 浅原委員

2021年6月17日(木) 平日例会山行
土倉岳1008m(八草川右股林道～860mコル)
担当: 田中顧問

2021年6月22日(火) 山歩会
朝日山(亀岡) 担当: 中川監事

2021年6月27日(日) 第3回 健幸登山教室
担当: 松下支部長・須藤委員

2021年6月30日(水)
巨木探訪 担当: 山村委員

(7月)

2021年7月17日(土) 歴史と文化の山旅
斑鳩の里 担当: 伊原事務局長・森委員

2021年7月22日(木) 平日例会山行
墓谷山737.8m 担当: 田中顧問

2021年7月25日(日) 第4回 健幸登山教室
沢登り 担当: 松下支部長・土井委員

2021年7月27日(火) 山歩会
織山・安土山(湖東) 担当: 中川監事

2021年7月29日(木)
巨木探訪 担当: 山村委員

2021年7月31日(土)
大文字山納涼山行 担当: 中川監事

(8月)

2021年8月8日(日) 第5回 健幸登山教室
沢登り 担当: 松下支部長・須藤委員

2021年8月25日(水)
巨木探訪 担当: 山村委員

(9月)

2021年9月12日(日) 第6回 健幸登山教室
鈴鹿山系 担当: 松下支部長

2021年9月18日(土)～20日(月)
お月見山行 担当: 山村委員

2021年9月23日(木) 平日例会山行
鳥越峠～△1074m(Ⅲ栗ヶ谷)～△1067m(Ⅲ大ヶ屋)
担当: 田中顧問

2021年9月28日(火) 山歩会
弥仙山(丹波) 担当: 中川監事

2021年9月29日(水)
巨木探訪 担当: 山村委員

(10月)

2021年10月 第7回 健幸登山教室
担当: 松下支部長

2021年10月 比良・ダング坊整備とBBQ懇親会(秋季)
担当: 真名子委員

2021年10月9日(土)～10日(日) テント泊山行
赤兎山1629m・大長山1671m 担当: 田中顧問

2021年10月16日(土)～20日(水)
「未知の山旅シリーズ」越後・南会津方面
担当: 笠谷副支部長

2021年10月20日(水)
山水会講演 担当: 伊原事務局長

2021年10月
秋のスケッチ 担当: 山田会員

2021年10月26日(火) 山歩会
高取山(奈良) 担当: 中川監事

2021年10月27日(水) 巨木探訪 担当:山村委員
 2021年10月28日(木) 平日例会山行 野坂岳 担当:田中顧問
 (11月)
 2021年11月6日(土)～7日(日) 大江山 講演 八木透会員 広島支部交流山行(京都滋賀支部担当) 担当:伊原事務局長
 2021年11月7日(日) 山の日記念 「ファミリーハイク」大江山 担当:松下支部長
 2021年11月 第8回 健幸登山教室 奥美濃 担当:松下支部長・須藤委員
 2021年11月 五支部懇親山行(石川支部担当) オンソリ山(888m) 担当:伊原事務局長
 2021年11月11日(木) 平日例会山行 ろくろ山△662.3～三十三間山 担当:田中顧問
 2021年11月20日(土)～22日(月) 富士山須山古道より宝永山2693m 担当:伊原事務局長
 2021年11月24日(水) 巨木探訪 担当:山村委員
 2021年11月30日(火) 山歩会 小塩山(京都西山) 担当:中川監事
 (12月)
 2021年12月14日(火) 武奈ヶ岳の日 担当:真名子委員・土井委員
 2021年12月16日(木) 平日例会山行 忘年山行 山域未定 担当:田中顧問
 2021年12月22日(水) 巨木探訪 担当:山村委員
 2021年12月28日(火) 山歩会 忘年山行 稲荷山～清水寺 担当:中川監事
 (1月)
 2022年1月3日(日) 初詣山行 担当:上田委員
 2022年1月13日(水) 支部新年会 担当:森委員
 2022年1月 平日例会山行 山域未定 担当:田中顧問
 2022年1月26日(水) 巨木探訪 担当:山村委員
 (2月)
 2022年2月12日(土)～13日(日) スキー例会 野麦峠スキー場 担当:山村委員
 2022年2月 五支部スキー山行
 2022年2月23日(水) 巨木探訪 担当:山村委員

(3月)
 2022年3月22日(火) 山歩会 山域未定 担当:中川監事
 2022年3月 平日例会山行 山域未定 担当:田中顧問
 2022年3月30日(水) 巨木探訪 担当:山村委員

(全国他団体関係)

2021年4月24日(土)～25日(日) 日本山岳会「エベレスト登頂50周年フォーラム」
 2021年5月20日(木) 『梅棹忠夫・山と探検文学賞』
 2021年6月19日(土) 日本山岳会総会
 2021年7月3日(土)～4日(日) 日本山岳会自然保護全国集会
 2021年9月25日(土)～26日(日) 日本山岳会全国支部合同会議
 2021年12月4日(土) 日本山岳会年次晩餐会

2. 支部役員会、各種委員会、活動、その他 (京都・滋賀支部定例役員会)

京都・滋賀支部役員会 毎月第1水曜日に開催(祝日の場合は第2水曜日)

(その他委員会)

「今西錦司レリーフを守る会」
 「今西錦司賞」選考委員会
 機関紙(支部だより)編集委員会 適時開催
 143号 2021年6月15日 発行
 144号 2021年9月15日 発行
 145号 2021年12月15日 発行
 146号 2022年3月15日 発行

(部会活動)

自然保護部会
 山行部会
 海外部会
 ホームページ委員会
 ダンダ山ダンダ坊森づくりの会
 京都・滋賀支部友の会
 「山岳古道」調査委員会

(支部関連の会)

京都陀羅佛会
 藤尾の森づくりの会

2021年度 日本山岳会京都・滋賀支部役員

顧問	齋藤 惇生	酒井 敏明	塚本 珪一	薬師 義美	田中昌二郎	
支部長	松下 征文					
副支部長	幣内 規男	笠谷 茂				
監事	中川 寛	八木 透				
委員	浅原 明男	荒木龍太郎	伊原 哲士	上田闊三郎	宇都宮道人	大槻 雅弘
	駒井 治雄	須藤 邦裕	竹下 節子	土井 文雄	野村 綾子	福田 文夫
	真名子栄一	宮永 幸男	村上 正	森 栄司	山村 孝夫	

担当任務（太字は責任者、[]は会員担当）

事務局	伊原 哲士	宇都宮道人（会計）	駒井 治雄（京都岳連）			
	竹下 節子（図書）	中川 寛	野村 綾子	福田 文夫		
	松下 征文（滋賀岳連）	森 栄司				
遭難対策	宮永 幸男	上田闊三郎（留守本部）	荒木龍太郎	駒井 治雄	須藤 邦裕	
	真名子栄一	村上 正				
山行部	笠谷 茂	浅原 明男	荒木龍太郎	上田闊三郎	大槻 雅弘（京都新聞）	
	須藤 邦裕	田中昌二郎	土井 文雄	中川 寛	福田 文夫	幣内 規男
	真名子栄一	松下 征文	宮永 幸男	村上 正	森 栄司	山村 孝夫
古道調査	村上 正	伊原 哲士	松下 征文	八木 透	[岡田 茂久]	
海外部	浅原 明男	田中昌二郎	真名子栄一			
自然保護部	幣内 規男	山村 孝夫	伊原 哲士	野村 綾子	[岡田 茂久]	
ホームページ	浅原 明男	伊原 哲士	上田闊三郎			
支部だより	中川 寛	福田 文夫	幣内 規男	[山田 和男]		
友の会	上田闊三郎	真名子栄一	松下 征文			
今西錦司レリーフを守る会	齋藤 惇生	大槻 雅弘	駒井 治雄	中川 寛		
今西錦司賞選考委員会	齋藤 惇生	塚本 珪一	[岡田 茂久]	[杉山イタル]		

スキー例会

野麦峠スキー場

山村孝夫

京都を2月13日（土）朝7時30分に出発。2台に分乗した車は目立った渋滞もなく順調に現地に着きました。途中で2回休憩をして境峠下の蕎麦屋に11時45分着で、蕎麦の昼食を摂り野麦の里（宿）に12時35分着。

ゲレンデには13時過ぎに立てました。積雪は予想より多く有り全部のゲレンデが滑走可能状態でした。お天気が良いので、まず上部ゲレンデ(2150m)に向かいます。近年は余り天気に恵まれなかったから、どんな展開を見せてくれるか楽しみでありました。

上部からの展望は正面から乗鞍岳がドカンと居座り、その右へ十石山・焼岳・穂高は北穂以外は全部見えまし

た。残念ながら御嶽は頭が雲の中でした。

雪質は余り期待していなかったのですが、雪面にアイスバーンが無く、硬からず軟らかかずで、自分の膝にはとても易しい雪質で、久し振りに膝に痛みを余り感じなくて気持ち良く滑走を楽しめました。雪面が堅くて荒れているとエッジングする度に跳ね返ってくる力が関節に直接に響き、どうにも辛抱が出来ぬくらいに痛むのです。このような状態になると思うようにスキーは動いてくれません。これはもう楽しむスキーじゃなく痛みから逃げ出すスキーになってしまいます。調子に乗って滑っていると、後々膝に痛みが酷くなるので十分に自重して僕だけは早くにあがりました。16時宿へ帰着。その後は、宿の部屋で一杯やりつつ様々な話しに花が咲きました。その内に幣内氏と伊原氏の「秘湯組」が帰って来ていっそう賑やかになりました。夕食後もガヤガヤと話しが続き22時頃就寝。

翌2月14日(日)は晴れ。お天気は良いのですが、ゲレンデへは向かわずに京都へ。途中、道の駅2ヶ所に寄り土産等を買込む。大桑村道の駅からは三の沢岳が前面に大きく三角形の美しい姿が目立っており、その左奥に駒ヶ岳・宝剣岳がすっきりと見えました。でも御嶽だけは中津川からも名神の木曾三川からも見えませんでした。が、「また来いや」と声を掛けてくれているような気がしました。帰りの名神は暑く、伊吹辺りで22℃ありました。京都14時30分着。解散。

実施日：2021年2月13日(土)～14日(日)
参加者：山村孝夫(L)、伊原哲士、大槻雅弘、幣内規男、山田和男
(会員外)内村百合子、川勝雅文

平日例会山行

岩阿沙利山

古谷英二

リトル比良もメジャーなコース、近江高島駅を降りて音羽からの反時計回りか、今回の北小松からの時計回りが有名である。

一度は行きたいと思いながら、なかなか思い切れなかったが、今回こうして例会に参加できて嬉しいです。

JR湖西線、北小松駅到着が8:15。「比良げんき村」を過ぎ、「楊梅の滝」は今回時間の都合もあり通過、先ず目指すは「涼峠」、ひっそりと石碑が立っていた(9:51)。

そして、緒方さんが可愛い可憐な花を発見してくれた。カメラにパシャリ、名前が分からないので帰って調べてみる、どうやらバイカオウレンのようである。山歩きはこれがあるから楽しい。今日はそのほかに馬酔木の花も鈴なりに咲いていた。

幾度となく渡渉があり、プチ道迷いもしながら寒風峠に到着(10:58)。そして滝山の到着は11:35。朝も早かったこともあり、ここで昼食を摂った。

その後、嘉嶺ヶ岳を過ぎて、本日の目的地でもある岩阿沙利山に到着(13:06)。ここで記念撮影、大きな奇岩は仏岩と呼ぶようである、なるほど仏さんに見えなくもない。この岩阿沙利山、Googleマップでは、岩門沙利山となっている、よくこうした山名の違いを目にする、何かいわれはあるのだろうか、そう、大原にある梶山を大尾山と言うように・・・

鳥越峰に到着(14:08)、当初ここから岳山を経由して音羽に下る予定だったが、時間も遅くなりそうなので直接近江高島駅に出る見張山経由で下ることにした。

無事17:10には近江高島駅に到着し帰路に就いた。

今回、出会えたバイカオウレンと言う花、まだまだいろんな花に出会いたいが、なかなか出会えていない。可憐な山野草に出会えることを楽しみに、これからもいろんな山に登りたいです。

GPSアプリの記録によると、
歩行距離:12.4km(10km越え)、累積標高 上り/下り:992m/999m(もうちょっとうろうろしたら1,000mに達していた)
消費カロリー:3959kcal(結構な消費カロリーであった)

実施日：2021年3月18日(木)
参加者：田中昌二郎(L)、宇都宮道人(SL)、
(友の会)緒方由子、古谷英二



岩阿沙利山の頂上にて

山歩会例会

野州「鏡山」384.5m

西田 均

この処、天気不安定で、寒暖の差も激しく気をもんでいたが、今日は快晴で絶好の登山日和となった。JR野州駅に8:20に集合して、近江鉄道バスに乗り鏡山登山口で下車した。ここは地図上の115mの地点である。中川リーダーからの挨拶を聞いて後出発した。(10:00発)

久しぶりの山歩会例会の実施に参加者の人数も多く、皆さん表情は歓びに満ちている。歩き始めてしばらくすると右側に池がみえ、なお5分程進むと「あえんぼ広場」という標識のある狭い空き地に着いた。傍らに四阿があり小休止。おやつなど分け合って和やかに過ごした。

10分程して出発。木漏れ日の中、春爛漫の暖かい風に吹かれて鶯の鳴き声を聴きながら気持ち良く、小一時間程登って行くと分岐に着いた。直進すると鏡山山頂で

あるが、右手の分かれ道に鳥居が立っており扁額に「貴船神社」と認めてあったので興味深く思った。他のメンバーも同様に思ったらしく、見に行こうという事になった。

分岐から100m程進むと左手に石段が有り30段ほど上ると大きな磐座が聳え、上に祠が祀ってあった。その昔この辺りで修験道が行われていたのではないか。元の分岐に戻り山頂に向かう。10分程で「鏡山山頂」の標識に出会ったが三角点がない。地図を見ると三角点は右に100m程の地点だ。右に折れ2分程で鏡山二等三角点3845に出会う。(11:30着)

此处で1時間昼食を兼ねて大休止をとる。山頂は西側が開け、三上山が間近に見え、左にやや遠く金勝アルプス、阿星山、飯道山等が認められた。食後三角点を前に記念撮影を撮った。

記念撮影後山頂を後にした。(12:30発) 地図を見ると山頂南に送電線の記号が見られ、道は電線と交差すると予想される。三角点直下に「城山」の道標が見える。登山計画書によると城山経由で希望ヶ丘公園にゴールする予定なのでその方向に西南に下行する。しばらく行くと前方に送電線が見えた。鞍部に降りて登り返して小ピークに着くと、送電線の直下である。そこから右に送電線を縫う様に5分程行き今度は左折して送電線と別れる。

さらに二つ目のピークには、右折する様に矢印が付けられていた。此处で再度地図を確認すると城山までは先ほどの送電線と300m程離れて西に平行して行けば良いと大雑把に理解した。しかし距離は2k近く有、その上かなりの数のアップダウンがありそうである。西方の城山に向かって縦走を再開する。見通しの悪い樹林帯のなか、急なアップダウンを幾度か繰り返して1時間近く進むと道標の立っている鞍部に降りた。直進すると「城山、古城山」左手方向へは「希望ヶ丘公園」と道標には記し

てあった。

中川リーダーは直進するが、城山には登頂せずにその手前の谷を左におりて希望ヶ丘公園にゴールする様に指示された。急な尾根を10分程登ると小ピークに着いた。(14:10)「古城山」の表示が木に掛かっていた。さらに10分程進むと次に「希望ヶ丘公園」の道標が見えたので、左折して谷を30分程降りると希望ヶ丘公園の遊歩道に出会った。皆さん体力を使いまた安心して急に空腹を覚えたので、おやつタイムをとり、後はゆっくり散歩のペースでバス停迄歩いた。(15:25着)

15:40発の近江鉄道バスに乗車してJR野州駅に15:55に到着した。下車後、中川リーダーの挨拶の後解散した。

本日はコロナ蔓延の為に久しぶりで山歩会例会が実施され、その為参加者も15名の多数を数え大盛況であった。

春爛漫、快晴の登山日和、皆さんと楽しい山行を共にさせていただき誠にありがとうございました。

実施日：2021年3月23日(火)

参加者：中川 寛 (L)、宇都宮道人 (SL)、遠藤将一、大倉寛治郎、竹下節子、西田 均、能田直子、森 栄司、(友の会)小川一代、川寄紀久子、辻田詩子、西田和恵、橋本裕子、馬場信枝、古谷英二



鏡山山頂にて



左鏡山遠望 右端に三上山が見える

巨木探訪シリーズ

三重県津・亀山・鈴鹿市周辺

(自然保護部会 3月例会)

岡田茂久

巨木探訪シリーズは、新型コロナウイルス感染拡大第3波の余波から、1月・2月は中止となり、3月になってやっと小康状態となり3ヶ月ぶりに実施となった。従来は京都府下、兵庫県中北部、福井県南部地方が多かったが、今回の目的地は初めての三重県方面ということで、新しい巨木との出会いに気持ちが高ぶってくる。

四条大宮を8:30出発、天候も上々で温かく、コロナ対策で車窓を開けての走行も快適である。京都東ICから名神高速に乗り、草津から広い新名神高速道に入る。途中、土山SAで休憩し亀山JCTを経て、関JCTから伊勢自動車道に入り芸濃ICで降りる。この辺り高速道の乗り換えはかなりややこしい。時間は10時ジャスト京都から1時間半である。

まず向かうのは津市芸濃町椋本の「大ムク」。芸濃町椋本は「伊勢別街道」の宿場町である。「伊勢別街道」とは江戸時代、京都方面からの伊勢参り客が多く利用する街道であった。

椋本は東海道の関宿で伊勢方面に分岐し、初めての宿場町で大層賑わったらしい。現在でも当時の旅宿の雰囲気を残した建物が散在し、辻々には常夜灯や古びた道標が残っている。今日訪ねる「大ムク」は椋本の地名の由来であり、国の天然記念物となっているが、その割に「大ムク」の所在地は判りにくく、地元のオバちゃんに聞いて伊勢別街道を引き返す。ムクの巨樹は石柱と鉄柱の柵に囲まれ大事にされているが、さすが樹齢も古く樹の勢いは旺盛とは言い難い。

案内板には嵯峨天皇の在位(809～822年)の頃、坂上田村麻呂の家来の野添大膳が、当時でも既に大樹であった椋を見つけ、樹下に草庵を建てたとある。樹齢は推定1500年といい幹回り8mというが、崖下に位置するためか全体像が見難く、見た目は思ったほどではない。昭和9年に国の天然記念物に指定されている。少し離れた道路脇には、木の実がお神楽の巫女さんが振る鈴の原型と言われる、珍しい「オガタマ」の大木もあった。(10:15～10:25)

亀山市まで戻り、次いで国指定史跡である東海道の「野村の一里塚」を訪ねる。江戸時代は一里が大体三六丁に統一されていたが、峠越えとか悪路では距離を短くしたりして、多分に感覚的であったらしく、距離で言えば「野村の一里塚」は、お江戸日本橋から106里12町、京の三条大橋から17里32町という。慶長9年(1604)に徳

川家康が作らせたもので、県内を通る東海道の12ヶ所にあった一里塚の中で現存する唯一の一里塚という。巨大な土盛りの一里塚の中央に、樹齢400年のこれも巨大な椋の木(幹回り6m)が塚の天頂に植わっており、大層見栄えのする景観であった。(10:50～11:00)

続いて同じ東海道街道筋で隣接する南野町の「宗英寺の公孫樹-いちょう」を訪ねる。東海道の街道筋というから簡単に見つかると思ったが、行き止まりをバックしたり狭い道でUターン。やっとたどり着いた。寺というから山門に本堂と庫裡ぐらひはあると思っていたが、墓地に隣接し普通の民家風の建物が宗英寺であった。「宗英寺の公孫樹」は三重県指定天然記念物である。幹周り8m、樹高40mで樹令600年の雌株で樹勢はすこぶる旺盛、巨大な火炎樹を想わせる樹形で、幹にはツタがからまり太い柱瘤が垂れている。秋の黄葉と鈴なりの銀杏を想像すると見事というほかはないだろう。

帰宅して地図を見ると寺の南端からは、かつて国鉄全盛時代に日本有数と言われた亀山機関庫と操車場が見えるはずと判り、是非、季節に合わせて再度訪問したいと思っている。



宗英寺の公孫樹

(11:05 ~ 11:15)

宗英寺から旧東海道である県道 28 号線を北上。途中で現東海道である国道 1 号線に合流、県道 54 号線から単車がトコトコ走る伊勢鉄道の踏切を渡り、近鉄湯の山線を高架で越して、高速道路と見紛うような立派な県道 23 号に左折。三重県は自動車産業に関連する工場が多く道路も立派である。近鉄名古屋本線の長太（ナゴ）ノ浦駅方面に向かう。やがて右手前方の田園の中に一目で判る高木が見えてくる。近鉄の車窓からも良く見えると聞くと、樹齢 1000 年という「長太（ナゴ）ノ大楠」である。1959 年（昭和 34 年）の伊勢湾台風では、大きな枝が折れるなど相当痛みつけられたとはいえ、樹高 23m、幹周り 9m、枝張り四方に 30m 超というから素晴らしい。見通しの良い開けた田園の中の台地に屹立し一際存在感を誇っている。見上げるに首がだるくなる。根元の洞らしき箇所を植木屋さんが補修をしていたが、大事に守られているようだ。(12:05 ~ 12:20)

次に、徳川将軍が代替わりするたびに、諸国に遣わされた巡見使が通ったことから名づけられた巡見街道で、東海道から関ヶ原に分岐する国道 306 号線沿いの「椿一宮神社の大杉とモミ」を訪ねたが、瀟洒な神社で境内も狭くそれらしき大木は見当たらなかった。どうも入道ヶ岳山麓の「椿大神社」の誤りらしい。(12:55 ~ 13:00)

東名阪鈴鹿 IC から亀山 JCT を経て新名神にて帰京。四条大宮には (16:10) の帰着であった。

実施日：2021 年 3 月 24 日（水）

参加者：山村孝夫（L）、岡田茂久、柏木俊二、
中川 寛



長太「ナゴ」の大楠

第 1 回健康幸登山教室

北小松人工壁講習会

土井文雄

北小松げんき村の人工壁にてクライミング講習会が開催されました。一般の方、友の会会員からも多くの申し込みがあり、総勢 13 名。通常の登山から一歩踏み込んだ世界であるクライミングへの興味の高さがうかがえる人気ぶりです。

まずはハーネスやカラビナの正しい装着、ロープワークの基本であるエイトノットを松下支部長、須藤委員が手本を披露して実践していきます。初めて結ぶ、久しぶりにやってみたら忘れていた、など皆さん首をかしげながらも覚えるまで繰り返し練習です。

その他クロブヒッチ、ムンターヒッチなども併せて教わり、いよいよ壁を登る準備も整い、クライミング開始です。

人工壁には多種多様のホールドが数種類の色別に設置され、それぞれの色でグレードの設定がされています。まずは色関係なしで 15m の壁を登っていきます。みなさん、楽しそうに登っていき、上で振り返り雄大な琵琶湖を眺める余裕もあり、笑顔でローダウン。

次は使うホールドを限定してクライミングです。この人工壁で一番易しい 5.9 からチャレンジ。手を伸ばし足を上げて上へ上へと持ち上げて行きますがなかなかうまくいきません。それでもなんとかトップアウトする初心者もいて達成感のある笑顔で降りてきます。

クライミングシューズ持参のメンバーもいれば、登山靴、スニーカーで登ってみる方も。経験者のメンバーは 5.10A、B、C とグレードを上げて果敢にチャレンジしていきます。

ビレイしている指導員から足の置き方、身体の向き等のアドバイスもあり、皆さん積極的に何度もトライしていきます。引き続きトレーニングは続き、次第に腕の筋肉が悲鳴をあげてきてさっきまで登れたホールドまで登れなくなったり、何度トライしてもいつも同じホールドで立ち往生したり。

午後からは確保器を使ってビレイを教わります。クライマーの命を預かる動作なので皆さん真剣な表情で基本動作を繰り返し練習します。

松下支部長がクライマーとなって全員が順番にビレイヤーとなりロープを出したり、落下を止めたりなどの基本動作を学びました。

終了時間ギリギリまで腕がパンパンになるまで頑張ってトレーニングを繰り返し登山教室は無事終了となりました。

最後に松下支部長よりロープワークトレーニングのためのロープを買ってしっかり練習するようにとのアドバイス。きっと皆さん購入されてトレーニングされている事と思います。

実施日：2021年4月4日（日）

参加者：松下征文（CL）、須藤邦裕（SL）、土井文雄（SL）、竹下節子、松下征悟、（友の会）今中三恵子、植村公一、尾形利香、木村絵美、宅間 仁、（一般）3名



トレーニングに励む参加者

平日例会山行

八草峠旧峠から三等三角点戸谷 撤退

田中昌二郎

八草峠について、『近江 湖北の山』（山本武人著 初版 昭和60年 ナカニシヤ出版）に、「大正末期ごろまで岐阜県坂内村大字川上字小具筋と滋賀県金居原字日ノ裏との境界のあたりに十五～六戸の村があり、その一帯を八草と呼んでいた。それで峠も八草峠となった。今では名付け親の村はなくなったが、峠にだけその名を残している。」とあり、また別の資料に、「明治時代の八草峠は、土倉鉱山から採掘した銅の鉱石を人や牛馬の背に積み運ぶルートとして利用された」とも記されている。

1963年4月にR303の八草峠を自動車で越え、八草川

の上流部で魚釣りをした時の記憶が心に残っており、峠と鉱山の古い記述にひかれたのである。

JR山科駅前に集合。湖西道路、R303にて木之本を経由し金居原集落に向かい、土倉谷分岐に駐車した。当日は、緊急事態宣言開始日にあたり、各自起床時に検温、車の中でもマスク着け、換気にも注意した。

9:20 やっとマスクをはずしスタート、登谷の林道を進み、林道終点到着 10:00。砂防堰堤を越えて沢に降り、右の細い泥・岩交じりの支沢に入る。左の尾根への取り付きを探し、無理して尾根に攀じ登る。尾根上は杉の植林で、藪漕ぎはないが次第に傾斜が増し、スリッパを注意して厳しい登りが続く。登山の最初から急斜面の登山が続く、少しでも傾斜の緩いところをと左右に折れながら登るが、一向に緩くならない。メンバーから、このルートで安全に下山するのに不安をおぼえるとの声を聞き、自分も事故なく下ることが第一であると気づき、尾根上の標高約550m付近で撤退を決め、銘々が杉の大木の上に場所を定めて昼食とした 11:25。

撤退と決めたがやはり八草峠旧峠への道跡が気になり、一人で上部を偵察する。標高100mほど登ったが、これと言って明確な道跡、切り分けなどは確認できず、年月の経過を考えれば当然かもしれないと引き返した。

下降開始 11:45。枝打ちした杉の枝に足を取られないように注意し急斜面を慎重に下ること1時間半ほどで堰堤を越えて林道終点の広場に帰り着いた13:15。

下りながら、尾根に取り付くのが早すぎた、もう少しガレ谷を登って谷の開けたところから植林地をトラバースしながら登ればよかったのではと反省したが、再訪する時があるだろうか？

駐車地に戻って土倉鉱山跡を見学することにした。

前出『近江 湖北の山』において山本武人氏は、金居原・藤田甚七氏の口述としてその歴史を記述されている。

「明治四十年に岐阜県安八郡の中島善十郎という人が銅鉱を発見。明治四十三年から昭和九年十一月まで信州の実業家田中銀之助（田中鉱業株式会社）の経営で採掘された。その後日産銅業株式会社が田中鉱業を買収、手掘りから機械掘りになった。昭和三十八年、銅の貿易自由化で同四十年八月、五十一年間に亘る鉱山としての歴史に幕を閉じた。その間、奥土倉では四回もアワ（雪崩）の災害があり、二十六名の尊い人命を亡くしている。そのため昭和十六年に奥土倉より出口土倉に鉱業所や作業員宿舎も移転、人口九百人余りの新しい土倉ができたこともあった。」

そのコンクリートの鉱山施設や宿舎の残骸の作る景観は、今は静かなこの山間の地の苦難の歴史を語っているようであった。感慨にふけってふと山を見ると、今日尋ねることができなかった三角点戸谷の先、標高点937mピークあたりの稜線が青空にまぶしかった。

実施日：2021年4月15日（木）

参加者：田中昌二郎（L）、宇都宮道人（SL）、
古谷英二



土倉鉱山跡から目的だった稜線を見る

歴史と文化の山旅

馬見丘陵

伊原哲士

個人的なことだが、2018年に重篤な骨髄炎になり約6ヶ月入院した。400mまともに歩行できない状態から何とか回復したが、厳しい登山は無理になった。登山路にもよるが4時間から6時間程度ならば両ストックを使っただけの軽登山歩行は可能だ。今も登りよりは急坂の下りの方が辛い。それでも「自然保護」とか「登山文化の継承」「安全登山の啓蒙」など、日本山岳会会員としての役割は何かあるだろうと感じて行動している。

日本山岳会京都・滋賀支部では「ゆるやか山行」としての山歩会がある。それより「ゆるやか」なのが歴史と文化の山旅かも知れない。

当初の予定の4月17日（土）は降水確率90%だったので例会を一日延期して翌18日（日）とした。参加を予定していた、岡田茂久さん・竹下節子さん・能田直子さん・森栄司さんは諸般の事情で来られなかった。もし皆が参加できれば9名の参加で、この「ゆるやか山行」も支部の高齢化の中でそれなりに需要があるということ

だろうか。

4月18日は10時に近鉄・新王寺駅集合した。集合時の天候は晴れ。近鉄田原本線というローカルな線に乗り池部駅下車。河合町役場横を抜け、「緑道エリア」と呼ばれる緑に囲まれた遊歩道を通り馬見丘陵公園に入った。約1kmの遊歩道だが自転車も通らない完全な歩道なので快適に歩けた。カエデ・モミジも多く見られるので晩秋は紅葉が美しいだろう。遊歩道脇にはチューリップ、その下にはポインセチアの淡い水色の花を覗かせている。所々にハナミズキが七部咲きの紅や白の花を開花させ陽光に眩しい。

中央エリアで様々なチューリップを堪能した。このシーズン中は約30万本のチューリップが植えられているという。旬が過ぎて幾つかのチューリップが花を落としているが、それでも沢山の数だ。

古墳の丘西側の公園館はビジターセンターのようなもので、ここで馬見丘陵のミニ学習をした。

奈良県の南西部にある馬見丘陵は、馬見古墳群としても知られている。香芝市・広陵町・河合町など2市3町に跨る標高70m程度の東西約3km、南北約7kmに及ぶ低い丘陵地で古墳の集積地となっている。開発されて古墳群が破壊されようとしたが、保存運動の高まりの中で奈良県営の「馬見丘陵公園」として史跡保存された。野鳥の宝庫でもあり、144種類の鳥が四季を通じて観測される、などを学んだ。野鳥と言え、この例会の直前、野鳥の会の友人から「ヤツガシラ出現の情報がある」と入ったが残念ながら見かけなかった。

公園館から南へ抜け、ナガレ山古墳の下で昼食休憩した。中川さんと山田さんは京都駅で奮発した駅弁を昼食に持参。幣内さんは奥さんの手作り弁当。「出かけると言うと手作り弁当を作りよる。家内は俺が外に出かけるのが嬉しいのやね」。休憩後、復元保存されているナガレ山古墳に登った。この例会の唯一の「山登り」になる。ナガレ山古墳からは、馬見丘陵最大の古墳である巢山古墳が見える。二上山、金剛・葛城・生駒などの山々の眺望も良い。

ナガレ山古墳は前方後円墳。全長は105mだが、見かけ状の前方部下段を加えると125mの古墳となる。土取により前方部が破壊されたが、保存運動により国の史跡に指定され保存された。墳丘は東半分が築造当時の姿に、西半分は芝を張って整備復原された。被葬については、前方部は粘土槨（箱型木槨）が出土した。後円部では石材が検出されなかったため木槨直葬と推定されている。円筒埴輪・形象埴輪・石製模造品・石製玉類・鉄製品・土師器・須恵器・水銀朱などが出土している。

カリヨンの丘から一本松古墳と倉塚古墳の間の道を抜けた。途中、石塚二号古墳の石棺の保存場所を訪ねた。古墳規模は削平され不明。県道工事中に小石室が三基発

見された。石棺を馬見丘陵公園に保存。

午後2時前より空の雲行きが怪しくなって来た。やがて雨になった。憩いの丘の大型テントで雨宿り。小雨になり、川崎さんが携帯で「雨雲レーダー」で「今なら駅まで移動できる」と言うので急いで駅に向かった。正解だった。やがて普通の雨になり、到着した新王寺駅で散会した。

最後に馬見丘陵公園内に残る主な古墳は以下である。「支部だより」の紙面をお借りして一部を記録し、破壊され喪われた埋蔵文化への鎮魂としたい。

池上古墳（帆立貝式古墳・墳丘長92m・5世紀前半）

乙女山古墳（国指定史跡・帆立貝式古墳・墳丘長130m・5世紀前半）

倉塚古墳（前方後円墳・墳丘長180m・5世紀前半）

一本松古墳（前方後円墳・墳丘長130m・4世紀後半）

別所下古墳（円墳・墳丘長60m・4世紀後半）

ナガレ山古墳（国指定史跡・前方後円墳・墳丘長105m・5世紀前半）

巢山古墳（国指定史跡・前方後円墳・墳丘長220m・4世紀末）

狐塚古墳（帆立貝式古墳・墳丘長86m・5世紀前半）

三吉二号墳（帆立貝式古墳・墳丘長90m・5世紀後半）

消滅した古墳も多い。以下は消滅したが、出土品などで存在が確認された主な古墳。

石塚三号墳（墳形不明・墳丘長不明、円筒棺出土）、佐味田坊塚古墳（円墳・墳丘長60m、円筒・形象埴輪、ガラス小玉・鉄刀片出土）、大塚古墳（前方後円墳・墳丘長65m、円筒埴輪出土）、貝吹山古墳（前方後円墳と推測・墳丘長100m、貝吹山古墳出土の鏡七面が宮内庁に保管）。

墳丘が削平され石室などが保存され確認された古墳も多い。主な古墳は以下の通り。

三吉三本松古墳（円墳と推定・不明、木棺・須恵器・鉄片・小刀片出土）、三吉一番地一号古墳（墳形不明・墳丘長不明、横穴式石室保存、金銅装飾金具・須恵器・土師器出土）、



馬見丘陵にて

池上二号古墳（円墳・墳丘長25m、粘土棺床・割竹形木棺保存、管玉・銅鏡・刀子片・鉄剣片・円筒埴輪出土）。

実施日：2021年4月18日（日）

参加者：伊原哲士（L）、中川 寛、幣内規男、山田和男（友の会）川崎紀久子

シャクナゲ山行

松下征文

例年山行だが、去年は新型コロナウイルスの感染拡大で実施できなかった。今年は13名の参加者で比良のシャクナゲを楽しむことが出来た。今年は暖かくて開花が早いだろうと考えたが、上部では例年通りGWが見ごろとなりそうである。

イン谷口のレスキュー比良小屋を9時前に出発して正面谷を金糞峠に登る。この谷は今迄に何度歩いただろう。落石の怖い谷であるが、何も知らない登山者に人気の登山道である。いつものように青ガレでミズメを講釈する。

金糞峠より奥の深谷源流に降りる。昼食用の水を補給してコヤマノ岳南東稜に取り付く、少し登るとシャクナゲの群生地である。咲いていない。え〜と思ったがもう少し登り日当たりの良いところでは美しく咲いている。しかし、少し時期が早かった。ゆっくり昼食を済ませセコルまで登って芦生杉の巨木林から金糞峠に戻る。金糞峠よりシャクナゲ尾根を北比良峠に向かう。シャクナゲ尾根は日当たりも良く満開のシャクナゲを堪能した。尾根から北比良峠までは展望もよく、今日の琵琶湖の色がとてもきれいだ。琵琶湖色とシャクナゲの赤色が記憶に残りそうです。

北比良峠で展望を楽しみダケ道を下る。昨年武奈ヶ岳の日に登山道横で猪が横たわっていたが今回は白骨化していた。

日本全国でシャクナゲを楽しめるが、自分は比良のシャクナゲが大好きである。GWに別の群生地を訪ねてみたい。

全員元気に16:00前にイン谷口へ下山した。最高齢80歳、最年少44歳、平均年齢54歳でした。

実施日：2021年4月25日（日）

参加者：松下征文（L）、土井文雄（SL）、村上 正、大久保優、松下征悟、真名子栄一

（友の会）宅間 仁、仲井照雄、近藤憲司、尾形利香、（一般）尾形基和、斎藤富司、上野陽子

行 事 案 内

- ◇ 山行への参加申込は、例会名、会員番号、氏名、年齢、電話番号等、緊急連絡先および山岳保険の加入・種類など必要事項を記入の上、郵送または FAX で。
- ◇ 「★マイカー分乗」の山行は参加者の自家用車利用を予定しています。ご協力をお願いします。
- ◇ 思わぬところで遭難事故が発生します。車両保険と同様、また、ご家族のためにも山岳保険の加入は登山者の常識です。会員各位のご理解をお願いいたします。

健幸登山教室

第3回 岩登り（金毘羅）

日 時：2021年6月27日（日）
 集 合：大原駐車場 8：30
 行 程：大原金毘羅岩場
 地 形 図：1/25000 図「大原」
 山行の目安：体力2、技術2
 内 容：ロッククライミング基礎講習
 担 当 者：松下征文、須藤邦裕
 申 込：6月20日（日）までに所定事項記入の上、
 メールで担当者まで。
 参 加 費：友の会—1500円
 一般受講生—2000円
 山岳保険又は傷害保険加入済のこと
 詳細は参加者へ連絡します。

第4回 沢登り（神崎川）

日 時：2021年7月25日（日）
 集 合：神崎橋 8：00
 行 程：神崎橋→林道終点→神崎川入渓→天狗の滝
 往復
 地 形 図：1/25000 図「御在所山」
 山行の目安：体力3、技術2
 担 当 者：松下征文
 申 込：7月18日（日）までに所定事項記入の上、
 メールで担当者まで。
 参 加 費：友の会—1500円
 一般受講生—2000円

第5回 沢登り（三舞谷）

日 時：2021年8月8日（日）
 集 合：坊村駐車場 7：30
 行 程：駐車場→梅の木町→三舞谷→武奈ヶ岳
 御殿山道下山
 地 形 図：1/25000 図「北小松」
 山行の目安：体力4、技術4
 内 容：健幸登山教室3、4の受講済者に限る
 担 当 者：松下征文、村上 正
 申 込：8月1日（日）までに所定事項記入の上、
 メールで担当者まで。
 参 加 費：友の会—1500円
 一般受講生—2000円

第6回 鈴鹿藤原岳

日 時：2021年9月12日（日）
 集 合：近鉄西藤原駅前 7：30
 行 程：駐車場→大貝戸道→八合目→藤原岳→八合
 目→聖宝寺道→駐車場
 地 形 図：1/25000 図「竜ヶ岳」
 山行の目安：体力4、技術2
 内 容：日本300名山、花の山
 担 当 者：松下征文
 申 込：9月5日（日）までに所定事項記入の上、
 メールで担当者まで。
 参 加 費：友の会—1500円
 一般受講生—2000円

歴史と文化の山旅

第3回 斑鳩（いかるが）の里

内容：斑鳩の地名の由来はよくわからない。用明天皇の皇子である厩戸皇子（聖徳太子）が、父の遺命により法隆寺を建立する。同時に、推古天皇9年（602年）は斑鳩宮を造営した。同12年（605年）に聖徳太子は斑鳩宮に移り住み、その2年後には法隆寺（斑鳩寺）が完成した。斑鳩は大和川に近く、また河内や飛鳥方面とも街道でつながった交通の要所であった。このため、聖徳太子の一族と斑鳩は上宮王家の拠点として栄えた。松尾寺は日本最古の厄除けの寺。日本人の心の原風景を訪ねたい。

日時：2021年7月17日（土）

集合：JR西日本大和路線法隆寺駅改札前 9時集合

行程：法隆寺駅－藤ノ木古墳－法隆寺－仏塚古墳－松尾寺－大和小泉駅

山行目安：体力2、技術1

担当：伊原哲士

申込：7月12日（月）までに所定事項を記入の上、メールもしくは電話で担当者まで。

平日例会山行

墓谷山 737.8m

杉野富士とも呼ばれる秀麗な山

日時：2021年7月22日（木）

集合場所・時間：参加者に連絡

行程：湖西道路⇒R303⇒木之本⇒R303⇒杉野集落→南卦寺登山道→大亀山南卦寺参拝→杉野集落→網谷林道→鳥越峠→墓谷山→鳥越峠→網谷林道→杉野集落

地形図：1/25000 図「美濃川上」「近江川合」「中河内」「木之本」

山行の目安：体力3、技術3

担当者・リーダー：田中昌二郎

申込：7月14日（水）までに所定事項記入の上、FAX またはメールで担当者まで。

鳥越峠～△1074m(皿栗ヶ谷) ～△1067m(皿大ヶ屋)

日時：2021年9月23日（木）

集合場所・時間：参加者に連絡

行程：長浜⇒八草トンネル⇒美濃川上⇒広瀬⇒鳥越峠⇒△栗ヶ岳→・932→・1001→△大ヶ屋→往路下山→鳥越峠

地形図：1/25000 図「近江川合」「横山」

行程距離：約10km、標高差：約450m

山行の目安：体力3、技術3 【注】藪漕ぎあり

担当者・リーダー：田中昌二郎

申込：9月15日（水）までに所定事項記入の上、FAX またはメールで担当者まで。

山歩会例会山行

織山・安土山

戦乱の歴史をしのぶ湖東の名山と城跡へ

日時：2021年7月27日（火）

集合：JR安土駅 9時30分

行程：JR安土駅→北腰越→織山→観音正寺→観音寺城本丸跡→織山→北腰越→大手門跡→安土城天守跡→大手門跡→JR安土駅

山行目安：体力2、技術2

地形図：1/25000 図「能登川」「八日市」

担当者：中川 寛

申込：7月20日（火）までに所定事項記入の上、FAX またはメールで担当者まで。

弥仙山

「丹波の槍ヶ岳」、「丹波富士」とも称される山へ

日時：2021年9月28日（火）

集合：参加者に連絡

行程：集合場所⇒登山口⇒水分神社→於成神社→弥仙山三角点（599m）→山頂分岐→山頂金峯神社（664m）→山頂分岐→・576m→回遊コース分岐→登山口⇒集合場所

山行目安：体力2、技術2

地形図：1/25000 図「丹波大町」「梅迫」

担当者：中川 寛

申込：9月21日（火）までに所定事項記入の上、FAX またはメールで担当者まで。

備考：自家用車を利用しますので、車の提供をお願いします。

大文字山納涼山行

日 時：2021年7月31日（土）
 集合場所：銀閣寺前
 集合時間：17時30分
 担 当：中川 寛
 申 込：参加者は上記場所、時間に集合。
 備 考：コロナ対策として、京都市にまん延防止や
 緊急事態宣言が出ている場合は中止にしま
 す。

お月見と山岳展望と巨木

日 時：2021年9月18日（土）～20日（月）
 行 先：岐阜方面
 担 当 者：山村孝夫
 申 込：8月10日までにハガキまたは電話で担当者
 まで。

巨木探訪シリーズ (7月・8月・9月)

日 時：2021年7月29日（木）
 8月25日（水）
 9月29日（水）
 担 当 者：山村孝夫
 *行先、集合場所等については、担当者に問い合わせ
 ること。

「未知の山旅シリーズ」(第9回)

日 時：2021年10月16日（土）～20日（水）
 目的の山域：越後・南会津方面（予定）
 計画の概要：7月31日までに作成。支部HPに掲載。
 進め方：
 ・プランニングチームにて概要を作成します。
 ・関心がある方、参加希望の方は、メールに
 て担当者へ連絡ください。
 ・計画書などの書類はメールで共有します。
 ・LINEにてグループを作り打ち合わせを行い、
 メンバーの技術・体力に応じた計画を作り
 上げます。
 担 当 者：笠谷 茂
 申 込：2021年8月29日（日）までにメールで担
 当者まで。

会務報告 支部役員会

第 421 回支部役員会

2021 年 2 月 3 日（水）18:30～19:40（於）鴨沂会館
出席：16 名 欠席：11 名

「報告」

1 月に実施予定の例会は全て中止された。
支部長・事務局長報告
全国支部連絡会議が ZOOM で開催された。各支部ともコロナ禍で活動が停滞している。事務局から転籍者、入会希望者の紹介があった。

「計画」

2 月に実施予定の山行計画について協議・承認。

「その他」

120 周年事業・古道調査について中間報告があった。
支部新ホームページへの移行が終了した。

第 422 回支部役員会

2021 年 3 月 3 日（水）18:30～20:00（於）鴨沂会館
出席：16 名 欠席：11 名

「報告」

2 月に実施されたスキー例会について報告。
支部長・事務局長報告
本部ホームページに「山岳」と「山」のバックナンバーが掲載された。支部においても山書会を立ち上げ、蔵書リストを作成した。事務局より逝去者、退会者の紹介があった。

「計画」

3 月に実施予定の山行計画について協議・承認。

「その他」

2021 年度支部総会への対応、役員人事について協議。

第 423 回支部役員会

2021 年 4 月 7 日（水）18:30～19:40（於）鴨沂会館
出席：16 名、欠席：11 名

「報告」

3 月に実施された平日例会山行・岩門沙利山、山歩会・鏡山、巨木探訪・亀山方面、4 月に実施された支部総会について報告。
支部長・事務局長報告
2021 年度支部役員及び担当任務について、また退会者について報告。
会計委員報告
会計業務の簡素化に向けて支部通帳を整理する。
2020 年度支部会費未納者について事務局より督促状を送付する。
古道調査委員会（村上委員）報告
支部で担当する古道候補五つを本部へ推薦した。

「計画」

4 月に実施予定の山行計画について協議・承認。

「その他」

京都新聞への連載記事は、滋賀版では「近江の山々」として、京都版では「京都から行ける近江の山々」として掲載される。

（中川 寛記）

令和 3 年度会費納入のお願い

支部活動推進のため、下記の会費を納入していただきますようよろしくお願いいたします。

支部会費	2,000 円
会友会費	2,500 円
友の会会費	3,000 円

*振込口座 ゆうちょ銀行
01070-3-33177

日本山岳会京都・滋賀支部

*振込用紙に氏名および会員番号を明記願います。

——次号 144 号 予告——

2021年9月15日発行 原稿締切7月31日(土)
原稿送付先 編集担当 山田和男

＝ あ と が き ＝

1年前に発行の139号のあとがきに、「思いがけないコロナウイルス騒動で、今年は桜と新緑の季節に山を楽しむことができなかった。」と書いた。まさか今年まで同じことが続くとは思ってもかけないことであった。

幸い極めて有効性の高いワクチンが開発され、日本でも接種が進みだした。秋には状況が落ち着き、紅葉の山を楽しむことを期待している。それまでは、感染対策を万全にして、無理のない山行を心がけよう。

日本山岳会京都・滋賀支部会報 「支部だより143号」

発行所 〒525-0072 草津市笠山3-6-6
松下征文方
日本山岳会京都・滋賀支部
発行者 松 下 征 文
編集者 中 川 寛
印刷 〒603-8148 京都市北区小山西花池町 1-8
(株) 土倉事務所
TEL 075-451-4844 FAX 075-441-0436

未踏峰と三江併流

— ヒマラヤの東、最後の辺境 —
 中村保著
 オールカラー226頁 8,800円
 最後の辺境に残された「無数」の未踏峰と、三本の大河が接して流れる世界遺産「三江併流地域」を、長年の踏査によってまとめた大型写真集。



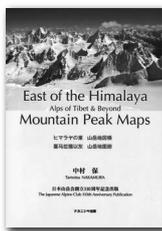
空撮ヒマラヤ越え 山座同定

中村保著
 オールカラー234頁 8,800円
 航空機から撮影した未知の大地の高峰群の貴重な写真の数々に山座同定を付した、ヒマラヤファンには画期的な魅惑の写真集。



ヒマラヤの東山岳地図帳

— チベットのアルプスとその彼方 —
 中村保著
 クロス装352頁 11,000円
 中国でも出版されていない精密な地図、探検史、地理的探査の記録、登山報告、氷河の調査などすべて網羅。好評につき重版!



旗振り山と航空灯台

大阪堂島の米相場は見通しのよい山上で旗振りによって伝達された。前著『旗振り山』以降に見えられた旗振り場に加え、航空灯台跡地・ラジオ塔めぐりを付した旗振り山探検記。実際に登つてみるためのコースガイドも付す。3,300円



柴田昭彦著

岐阜百秀山

森の国水の国
 清水克宏著 (大垣山岳協会)
 飛騨山脈、木曾山脈、御嶽山、白山山地、飛騨高地、越美山地などのそろうたる山々から市街地近郊の低山まで、すべてに登って、それぞれ登山ルートから難易度、歴史、地名の由来、楽しみ方まで、一挙紹介。2,420円



ナカニシヤ出版

〒606-8161 京都市左京区一乗寺木ノ本町15 <http://www.nakanishiya.co.jp/>
 電話 075-723-0111 FAX 075-723-0095 表示は税込価格です。



【木津屋橋本店】

〒600-8248

京都市下京区大宮通木津屋橋下ル

営業時間：10：00～19：00

休日：無休(年末年始および夏期)

1F/一般車コーナー 075-341-7702

2F/スポーツ車コーナー 075-341-7703

【久世店(オーダーフレーム工場)】

〒601-8205

京都市南区久世殿城町162

営業時間：10：30～18：00

休日：毎週水曜日・木曜日

TEL：075-921-8679



The Japanese Alpine Club
日本山岳会
 会員証

公益社団法人 日本山岳会
 〒102-0081 東京都千代田区四番町5-4
 TEL: 03-3261-4433 <https://www.jact.or.jp/>

●旧会員証でも構いません●
**日本山岳会 会員証のご提示で
 店頭価格から御値引いたします!**

※特価品・SALE品は対象外です。
 詳しくはスタッフまで!

取扱い
 ブランド

ganwell 音音音 cinelli Vittoria HED. DOLAN PINARELLO
 LOOK ANCHOR SCOTT FOCUS Wilier corratec など